

会報

発行所

広島市中区八丁堀11番28号
朝日広告ビル4F

広島県高等学校
PTA連合会

電話(082)223-3347
FAX(082)223-3351

HP hiroshima-koup.sakura.ne.jp

★ 広島県高P連

NO. 166

県高P連進学説明会

とき 令和元年八月十日

ところ 広島県民文化センター

多目的ホール

広島県高等学校PTA連合会主催の「進学説明会」が、広島県民文化センターで開催されました。昨年度は開催予定日前に発生した西日本豪雨災害の影響を考慮して中止となりましたので、二年ぶりの開催になったこともあり、初めて参加される人も多かったと思います。県内各地区から約四百名の皆様に参加していただき、会場は熱気に包まれました。



広島県民文化センター 進学説明会

最初に、広島県高等学校PTA連合会の伊福会長から挨拶があり、次に、

学校法人駿河台学園経営企画室部長で、前駿台予備学校広島校舎長の豊田様に、大学進学についての講演をしていただきました。講演内容は、「親子で乗り切る大学入試」入試の現状と保護者の役割」という演題で、大学入試結果の傾向と対策についてのお話の後、保護者の役割と心構えを、また、どのようなサポートが効果的か等について、具体例を交えながらのお話しを伺うことができました。私たちが知らなかったことや気付かなかったことも含めて、受験に限らず、親子関係に役立つヒントが満載で、とても参考になる有意義な内容でした。質問タイムでは会場から多くの質問があり、参加された皆様の関心の高さがうかがわれました。

引き続き、日本政策金融公庫広島支店 国民生活事業副事業統轄の渡辺様から奨学金や教育ローン等の教育資金計画についての説明があり、その後、広島県内の国公立大学等六校からの学校紹介が、海上保安大学校、福山市立大学、尾道市立大学、県立広島大学、広島市立大学、広島大学の順に行われました。各校に二十分という持ち時間のなかで、どのように伝えていただくか苦慮されたことと思いますが、インタビュー形式で伝えてくださる大学もあり、説明スタイルにも各校の工夫が見受けられ、それぞれの大学の特色や教育理念等について、わかりやすく紹介していただき

きました。各大学が地域社会との連携や国際社会で活躍できる人材の育成に力を入れるなかで、それぞれの学風や伝統に基づく個性の違い等についても知ることができ、進学に当たって参考にしたい、とても興味深いお話しを伺うことができました。

当日はとても暑い夏の日で、午後の約四時間という長時間の説明会でしたが、会場の皆様が熱心に聞き入る姿がとても印象に残りました。記入していただいたアンケートからも、講演と学校紹介のどちらも大変参考になり、参加してよかったとの声が多く聞かれました。そのような声を聞き、私自身も参加してあらためて思ったことは、保護者の皆様にとって関心の高い「進学」をテーマにしたこの説明会を、PTAが主催して行うことの重要性和、来年度以降もぜひ毎年続けていただきたいということです。

令和最初の進学説明会に、多くの皆様が参加してくださったことに、あらためて感謝いたします。そして、運営に携わってくださった事務局の皆様、役員の皆様、午前中の準備作業を行ってくださった進路対策委員の皆様、おかげさまで無事に説明会を開催することができました。参加者及びすべての関係者の皆様、本当にありがとうございます。

（進路対策委員長 三好尚子）

第六十九回全国高等学校PTA連合会大会京都大会

とき 令和元年八月二十二日～二十三日
ところ 京都市勤業館みやこめっせ
ロームシアター京都

第六十九回全国高等学校PTA連合会大会京都大会が、二〇一九年八月二十二日（木）～二十三日（金）の二日間、「京都市勤業館みやこめっせ」及び「ロームシアター京都」を会場として開催されました。広島県から二百三十名が参加し、全体では、約九千名が集いました。



ロームシアター京都 開会行事

京都大会のメインテーマは「Kyoから！未来を拓く」、サブテーマは「受け継ぎ、創る新たなストーリー」でした。メインテーマの「Kyoから」には、「京都の地から」、「大会の今日から」、「共に協力して」（「家庭」教育から）などの意味が込められています。「未来を拓く」は、これまで蓄えてきた財産を元に、子どもたちの未来や今後のPTA活動を創り上げるきっかけになる大会にしてほしいと願い、テーマとして設定されたものでした。大会一日目、開会に先立ち、ロームシアター京都のメイン

ホールにおいて、京都府立工業高等学校吹奏楽部「Mambo Jazz Band」によるアトラクション（演奏）がありました。同部は、同校の開校以来吹奏楽部として活動をしていいますが、一九九〇年代の半ば頃からジャズバンドとして活動を始めています。約二十分間のアトラクションはあつ

という間に終わり、同じメインホールで開会式が行われ、大会会長による式辞、来賓による祝辞が述べられる等、約一時間の内容でした。また、これまでPTA活動に功績があった団体・個人に対する表彰も行われ、広島県では、県立尾道商業高等学校PTA、県立広島国泰寺高等学校PTA、岡本知子様（前県高P連副会長）、石根敬之様（前県高P連副会長）、福貞知昭様（前河内高等学校PTA会長）が受賞されました。

アトラクション、開会式は、他会場へは映像配信されました。続いて、分科会が実施されました。本大会では六つの分科会が実施されましたが、私は、「（よくできる）とはどういうことか？」—「大学は、自分の可能性を見つける場である」というテーマの第一分科会へ参加しました。講師は、歌人であり、京都産業大学タンパク質動態研究所所長、そして、京都大学名誉教授でもある永田和宏様でした。永田様は一九四七年生まれ、一九七一年京都大学理学部物理学科を卒業され、主な受賞歴として、二〇〇五年の京都新聞大賞文化芸術賞、二〇〇九年に紫綬褒章、二〇一七年のハンズノイラート賞があります。また、

主要著書には、「近代秀歌」現代秀歌「もうすぐ夏至だ」「知の体力」等、多数あります。さて、講演内容ですが、日本の生徒は、「自分は人並みの能力がある」という自尊心や自己肯定感を持つ割合が諸外国の生徒に比べて低く、自らの参加により社会をよりよく変えることができるという意識も低い傾向がある。これからの社会では、十分な知識・技能を持ちそれを活用する思考力・判断力・表現力を臨機応変に発揮し、主体性を持って多様な人々と協力して学び、働く力、つまり「たのもしさ」を身につけることが求められているということを、御自身の人生を振り返りながら熱のこもった講演をされました。



京都市勤業館みやこめっせ 開会行事

まず、「よくできる」とは、高校生までは、試験成績がよく、偏差値・理解力が高い。つまり、豊富な知識を持ち、それを応用するといったイメージである。問題を解くにしても答えは1つであり答えがないことはない（必ず1つある）。子供たちは先生が教えることは正しいことだという意識になっている。また、知識を習得し、使えるように訓練する等、学んで習得（いかに正しく答えられるかを学習）するのが高校生までのことだとの考えをお持

ちでした。では、大学はどうか。大学は、学習ではなく学問（学んで問い直す、いかに問うことができるか）をする場である。最後の教育の場でもあり、社会へ出たら誰も正解を知らない、そもそも正解があるかどうかさえわからない。想定外への対処、これが学問をする意味だと。大学では、教科書に書いてあることを講義する必要はなく、教科書の一行と一行の間に書いていないことや、まだわかっていないことに気づくことが大切である。知識が学問に繋がるためには、驚きと感動が必要であり、永田様御自身の研究内容も例に挙げ、お話しされました。

そして、才能・能力とは正しく答えられることより、正しく問えること、企業は、問題解決能力だけを持った人間ではなく、問題発掘力や提示力がある人間を求めつつあることや、なぜ、学問をするのか、なぜ本を読むのか、それは、自分を知るため、こんなことも知らない自分を知るためであること、当たり前を問い直すことに難しさはあるものの、その大切さや自分の器はこんなものだと決めつけて生きない（他人の評価で自分を見ない）こと、挑戦や挫折の必要性について話を続けられました。

話される内容に度々「あーそうだった考え方もあるのだ」と感じて聴いていました。次に、御自身の転機についてもお話しされました。転機は大学に入られてから物理の落ちこぼれになった時で、落ちこぼれになったのは、①七十年大

学紛争②短歌に出会ったこと③歌人である恋人ができたこと。この三重苦が原因だと言われました。恋人というのは後に妻となられる河野裕子さんですが、物理の落ちこぼれにはなつたが、彼女に出会ったことは最高のことであつたそうです。そして、出会われた頃に、御自身や河野様が詠まれた短歌の紹介もされました。河野様：「たとえ君ガサツと落葉すくふやうに私をさらつて行つてはくれぬか」永田様：「君に遭う以前のぼくに逢いたくて海へのバスに揺られていたり」ですが、その出来映えには差があつたと言われました。

この転機を経て企業に就職され、平凡な日々を過ごされていたようですが、企業からパイオの研究をやつてくれとあり、五、六年研究をされましたが、部下もついてくれたこと、研究による薬の完成までに二十年もかかることから、二十九歳で企業を退職され、研究者として京都大学に戻られました。そこからは二足の草鞋（生命科学と短歌）を履かれました。何か一つのことをしつかりやることへの後ろめたさもあつたようですが、五十歳になつた時、関係のない二つのことに対し、力を抜くことなくやってきたのだと、永田和宏としての本質に気づかれ、一つのことだけをやっていたら逃げ場がなかつた、ある種の風通しのよさ、One of teamという風通しのよさがあつた。私は、こんな人生を歩んで来ましたが、物事を選択する上で、いくつかの可能性があるのならもつと面

白い可能性から選ぶことも大切である。ただし、それは安全とは言えず大失敗するが、自分はそうしてきたし、いつも安全なことはかり折んでいたら自分の人生は一体どうなつていたの、どうかと思う。決して、自分のいるこの場所だけが世界だと思わないでほしいと教えていただきました。



最後に子供たちの保護者（先輩）として、自分の人生を投影させながら、色々な可能性があることを教えてほしい。大学を理数系にするのか文系にするかの決め方も、得意ではないから等の消去法で決めることなく、好きだからこつちに決めるとあるべきだ。子供は何がやりたいのかを一緒に考えていくことも大切で、一方的に決めることはよくない、そして、褒め上手であること。冷静なだけでは駄目で、びつくりしたことを伝え、感激や喜びを共有してほしい。遅くても大学の入学式が子離れ式であり、いつまでも親の威厳を持つと人間としての関係を築けない、わかりやすく言えば、高校生までは親大学生からはプロジェクトを外し、友達感覚で接するとういのはと結ばれました。

なくこれでもいいのかと考えて問うことの大切さ、高校生の親としての子供への接し方等、多くのアドバイスを聴くことができました。

一日目の大会行事はこれで終わり、夕方からは「ホテル平安の森京都」において、広島県高P連情報交換会が開催されました。途中、元広島カープの新井貴浩さんのそっくりさん（今回、お世話になつた旅行会社の社員さん）が新井選手のユニホーム姿で登場され、クイズの進行をされました。（パツと見、本当にそっくりでした。）

また、他校の皆さんとお話しができ、楽しく有意義なひとときでした。こうして大会一日目が終了しました。

（調査広報委員 小谷浩昭）

大会二日目、記念講演を中心に報告させていただきます。

「学校教育・家庭教育に思うこと」と題し、日本電産株式会社代表取締役会長（CEO）京都先端科学大学等を運営する学校法人永守学園理事長永守重信氏による講演です。永守氏の経歴は、一九四四年八月京都に生まれ、一九六七年三月職業訓練大学院（現職業能力開発総合大学校）電気科卒業。一九七三年七月、二十八才の時に自宅の納屋を改造して、日本電産株式会社を創業。以来、四十年余りで世界四十二か国、グループ三百社超、従業員約十四万人を超える、モーター製造世界最大企業と成長を遂げ、現職でいられます。

先生のお話は、日本の高校教育、大学教育には問題があるから始まりました。

まず、高校に対して、先生がおもしろい授業をしていない、暗記とテクニクだけで古いことを教えていると痛烈な批判。大学進学もブランド名、偏差値を大切にすぎている、これらは終わつた、打破するなど強い口調で述べられました。大学教育についても、問題点を三つ、一、英語が話せない。二、専門教育ができていない。三、人間教育ができていないと話されました。特に英語に対しては東南アジアの大学はレベルUPしているのに日本はできていないと。話せないといけない。今や英語が必要な時代なんだと、競争に勝てないと熱弁をふるわれました。確かに、自分自身何度英語が話せたらと思つたことか。最低でも六年は学習したはずなのと思つてしまいました。

人間教育には家庭教育も大きく関わっているといわれ、大学、就職を選ぶ上にもブランド名につられるなどお母さんの影響が大きく災いしているといわれ、考えることもあり、納得するところもあつたりと考えさせられました。

「教育とは教える事」と力強く説く姿に自然にうなづいていました。社会に出てからのことも、働き方改革はいいが、「頑張らない」、「働かない」、「貢献しない」では駄目だと、一代でこれだけの企業にした方のことばは重く心に響きました。

大切にされている言葉は「情熱」「熱意」「執念」その通りの熱弁で約一万人の聴講者達を魅了していらつしやいました。きつと、誰一人寝るものはいなかつたでしょう。とてもパンチがあ

り、少々厳しいことを話されていると
思いましたが、納得できる部分が多く
自分自身肝に命じたいと思えました。
こういった大会に参加させていただ
き、楽しみなのが各アトラクションや
地域の物産展です。今大会も多彩な演
出で楽しませていただき、花を添えて
くださいました。

一日目の京都府立工業高等学校吹奏
楽部のジャズバンド、二日目、京都市
立塔南高等学
校吹奏楽とマ
ーチングのパ
フォーマンス。
とても素晴ら
しいものでし
た。そして、
京都らしいと
感じたのが京
都府立鳥羽高
等学校披露研
究部、披露 和歌に節をつけて詠み上
げる“です。



「冷泉流和歌」の作法にのっとった
「和歌を詠む」というもので、高校生
が使い慣れない和歌に節をつけて朗々
と詠む姿に感動いたしました。
和歌はやまと言葉ということでもとて
も雅で、優雅さを感じました。和歌に
は「うざい」「死ぬ」「クソ」も出て
きません。子供たちはこう言った言葉
をよく使います。

人を不愉快にする言葉だと思えます。
私たち大人も今一度日本語を大切に
し、考えて使わなければと考えさせら
れました。

物産展の方も賑わっていました。京
都らしい洗練された美味しそうなお菓
子、きれいな
民芸小物、な
かでも目を引
いたのが、瓦
を使った小物
です。昨今地
震や台風など
災害の影響で
日本の家屋の
瓦屋根が敬遠
されていると
聞きます。
文化財の多
い京都には瓦
屋根の神社仏
閣が数多く見られます。宮大工と言わ
れる方と同様、こういった屋根を扱う
のは特殊技術を持った職人さん方です。
小物をだされた会社も神社仏閣
の保存修理をされているとのこと、職
人さんの努力によつて古都京都の文化
財は守られているのです。今度訪れた
ときはいろいろな屋根を見ながら歩い
てみようと思えます。短時間ではあり
ましたが、古き良き京都、新しい京都
に触れることができ益々好きになりま
した。京都大会を企画運営いただきま
した、関係者の方々に御礼申し上げます。



鳥羽高校 披露研究部

ありがとうございます。来年は、
中国地方、島根県で開催されます。ど
うぞ、皆様足をお運びください。今大
会に参加できたことに感謝いたします。
(調査広報委員 畑 瑞恵)

「『一緒懸命』 子ども応援プロジ
ェクト みんながいるから頑張れる！
みんながいるから楽しめる！ 東地区
は頑張るオトナも応援しています。」
テーマを見るだけでも身体に力が沸
いてきそうな、令和元年度広島高等
学校PTA連合会広島県大会が、令和
元年十月二十七日(日) 十二時から、

～PTA功労表彰の御紹介～

PTA活動に御尽力いただきました次の皆様
が御受賞されました。

令和元年度優良PTA文部科学大臣表彰

- 広島県立尾道商業高等学校PTA (8月表彰)
- 広島県立廿日市特別支援学校PTA (11月表彰)

令和元年度全国高等学校PTA連合会会長表彰 個人

- 岡本知子 広島県高等学校PTA連合会前副会長
(広島市立広島工業高等学校元PTA会長)
- 石根敬之 広島県高等学校PTA連合会前副会長
(広島県立尾道商業高等学校元PTA会長)
- 福貞知昭 広島県立河内高等学校前PTA会長

令和元年度全国高等学校PTA連合会会長表彰 団体

- 広島県立広島国泰寺高等学校PTA

御受賞おめでとうございます。
受賞された皆様に感謝申し上げるとともに、心よ
りお祝い申し上げます。

(県高P連事務局)

**広島県高等学校PTA連合会
広島県大会**
とき 令和元年十月二十七日(日)
ところ 坂町サンスタールホール

安芸郡坂町
のサンスタ
ールホールに
おいて開催
されました。
開会に先
立ち行われ
たのは、最
初のアトラ
クションと
して、広島
県立熊野高
校書道部と
広島県立広
島高等学校
箏曲部の皆



広島高校 箏曲部



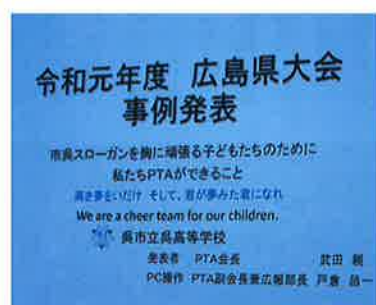
熊野高校 書道部



上げられると、会場より盛大な拍手が送られました。
 終了後、HFM「9ジラジ」のアシスタントDJヤスこと、安広修平さんがそれぞれの部長さんにインタビュー。なお、インタビューはその後もアト

さんによるパフォーミングス。
 美しい琴の調べに乗せて、力強く走る筆。大会テーマで

ある「一緒懸命 みんなが頑張れるから楽しいから楽しめる」の文字が書き



校和太鼓部「養訓太鼓（やなぐにだいに）」の皆さんによる演奏。身体にずんずんと響く太鼓の音に、随時交わさ

開会式後に行われたのは、二回目のアトラクション、広島県立黒瀬高等学校和太鼓部の演奏。来賓紹介がありました。



黒瀬高校 和太鼓部



安芸南高校 箏曲部・吹奏楽部

れる「もつともつー！」という部員同士での掛け声も加わり、活き活きとしたパフォーマンスが会場を沸かせます。

続いて、事例発表に移り、呉市立呉高等学校のPTA会長 武田親さん・副会長 戸倉昌一さんによ

る「市立スローガンを胸に 夢の実現に向けて頑張る子どもたちに 私たちPTAができること。高き夢をいっしょに、そして君が夢見た君になれ。 We are a cheer team for our children」の発表が行われました。
 市立呉高等学校の学校紹介から始まり、役員会や体育祭の様子、健全育成部・広報部・文化部・そして市立呉高等学校PTA独自の会員交流部の活動紹介。ソフトバレー等の行事を通じて、会員同士の交流を深め、情報交換の貴重な場にもなっているとのこと、スラ



最後に「想いを引き継いで、伝統にしていきたい」という言葉で締めくくられた武田会長の発表は、胸に響くものでした。
 事例発表の後は、会場に可愛いキャラクターが登場！広島県立安芸南高等学校のマスケット「あきな」と、広島県立西条農業高等学校のマスケット「あ

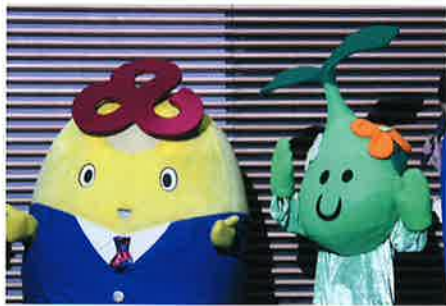
ぐりちゃん」が、県大会に花を添えてくれました。
 そして、三回目のアトラクションとして、広島県立安芸南高等学校箏曲部の皆さんによる、「優しいあの子」の演奏と、同じく安芸南高等学校吹奏楽部の皆さんによる、「Under the sea」「風になりたい」の演奏が披露されました。
 この後はいよいよお待ちかねの、オクボックスこと大窪シゲキさんの講演がスタート。HFM「9ジラジ」のオーブニングにのせて大窪さんがステージに登場。ラジオの雰囲気のままに

テンポよく繰り広げられるトークに、会場の参加者もあつという間にひきこまれていきます。その中で語られた、「どんなにいい言葉でも、子供たちの心が開いていないと、中には入っていかない。」

「食べたもので身体は形成されていくが、心は聞いた言葉、周りの言葉で形成されていく。そしてその言葉は、自分の、そして自分の周りの未来をつくっていく。」など、番組を通じて十代の子供たちと向き合ってきた大窪さんならではの言葉は私たちの心に響く内容でした。



西条特別支援学校・黒瀬特別支援学校



い「笑いんさい」「話しんちゃい」というフレーズを合唱しました。

その熱気も冷めやらぬうちに閉会行事が行われ、実行副委員長の榎泰代さん

さらに、講演の後に大窪さんがステージに呼んだのは、広島出身のアーティスト、HIP Yさん！代表曲であり、市立呉高校吹奏楽部さんとのコラボでも用いられた「君に捧げる応援歌」、そして「きんさいや」を熱唱。特に「きんさいや」では、「肩を組んで歌っていこうや」という歌詞に合わせて会場の参加者も肩を組み、「歩きんさい」「笑いんさい」「話しんちゃい」というフレーズを合唱しました。



令和2年 県高P連行事予定

- 1月18日(土)
令和元年度第2回単P会長研修会(広島YMCA 国際文化ホール)
- 3月中旬
令和元年度第2回常任委員会(広島YMCA 本館会議室)
- 6月11日(木)
令和2年度県高P連定例総会(広島県民文化センター)
- 6月下旬
第1回常任委員会(広島YMCA 本館会議室)
- 7月10日(金)
第62回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会広島大会
(広島市 広島市文化交流会館 広島文化学園HBGホール)
- 8月1日(土)
令和2年度第1回単P会長研修会(広島YMCA 多目的ホール外)
- 8月8日(土)
広島県高等学校PTA連合会進学説明会(広島県民文化センター)
- 8月20日(木)~21日(金)
第70回全国高等学校PTA連合会大会島根大会
(松江市 くにびきメッセ外)
- 11月2日(月) 全県一斉あいさつ運動

※令和2年度の広島県大会は中・四国大会に替えます。
令和3年度は福山地区で開催いたします。

の挨拶に続き、来年度広島で開催される中国・四国地区高等学校PTA連合会大会への参加呼びかけ、再来年の開催となる次回県大会の開催地区である福山地区PTAの皆さんによる大会PR、今大会の実行委員会副委員長の皆さんが一言ずつコメントをされた後に、二宮実行委員長による閉会宣言にて、県

大会の全日程が終了しました。今回の大会を開催・運営して下さった広島東地区高等学校PTA連合会の皆さん、そして大会に関わった全ての方々に、心より感謝と御礼を申し上げます。

(調査広報委員 石井準郎)

全県一斉あいさつ運動ポスター及び 「通学・交通マナー」標語入賞作品の御紹介

広島県高等学校PTA連合会では、五つの委員会を設置し、事業を行っております。そのうちのひとつ、健全育成委員会では、平成二十三年度より「全県一斉あいさつ運動」の事業を始め、今年で九回目を迎えました。

毎年十一月一日を「あいさつ運動」実施日とし、本年度も、各校、各駅などで実施いただきました。「あいさつ運動」のための県高P連ののぼり旗を掲げ、朝早くから寒い中実施いただき、各校のPTAの皆様、御協力をありがとうございました。

また、「あいさつ運動」を広く周知いただくためのポスター募集を、本年度も行い、健全育成委員会で厳正なる審査会を実施しました。

応募総数七十点の作品の中から、広島県立熊野高等学校市場海沙さんの作品が最優秀賞に選ばれ、ポスターとなりました。

ポスターは、十一月一日の「全県一斉あいさつ運動」の前に各校へ配布し、掲示をお願いいたしました。御応募をいただきありがとうございます。受賞された生徒さんは次のとおりです。

〔優秀賞〕

広島県立熊野高等学校

市場海沙



〔佳作〕

広島県立広島国泰寺高等学校

田中美蘭

広島県立広島国泰寺高等学校

田邊三史郎

広島県立安古市高等学校

門田彩衣

〔会長特別賞〕

広島県立黒瀬特別支援学校

岡原向日葵

また、昨年度より新規委員会活動の一環として始めました、「通学・交通マナー」に関する標語募集を行いました。

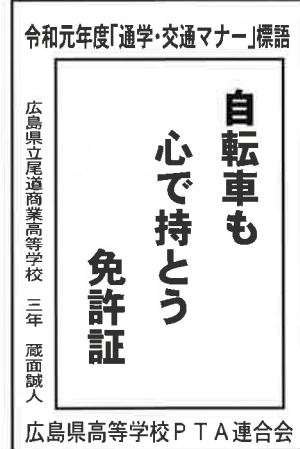
応募学校十校から一、一八一名の応募をいただきました。ありがとうございます。

最優秀賞の作品はポスターとして、各校へ配布させていただきました。受賞された生徒さんは次のとおりです。

〔最優秀賞〕

広島県立尾道商業高等学校

藏面誠人



〔優秀賞〕

広島市立美鈴が丘高等学校

六野亜唯

〔広島地区連合会賞〕

広島県立広島商業高等学校

秋山笑輝

〔広島東地区連合会賞〕

広島県立黒瀬高等学校

下垣内愛未花

〔広島西地区連合会賞〕

広島市立美鈴が丘高等学校

永井のぞ美

〔尾三地区連合会賞〕

広島県立尾道商業高等学校

大谷琉桜

〔福山地区連合会賞〕

広島県立福山工業高等学校

榎 修斗

〔三次地区連合会賞〕

広島県立西城紫水高等学校

藤田清澄

次年度も引き続き、「あいさつ運動ポスター」「通学・交通マナー標語」の募集を行う予定です。たくさんの方の御応募をお待ちしております。(県高P連事務局)

☆令和2年度 第62回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会 広島大会 開催迫る!! ☆

令和2年7月10日(金)広島市文化交流会館広島文化学園H.B.Gホールにおいて、第62回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会広島大会が開催されます。中国四国各県より高等学校PTA連合会の会員の皆様がたくさんお越しになられます。広島県高等学校PTAの活動、広島県の魅力を大いにPRいただき、良い思い出をお持ち帰りいただく大会を目指して、大会実行委員会で計画しているところです。この大会を大成功で終わることができるよう、広島県高P連の皆様のお力をよろしくお願いいたします。

(県高P連事務局)

広島県高等学校PTA連合会

高校生総合保障制度

この制度の特徴

〈高校生総合保障制度は、団体総合生活保険のペットネームです。〉

1. 団体割引25%適用・損害率による割引25%適用 (天災危険補償特約保険料には損害率による割引を適用しません。)
2. 病気・けが・賠償事故・携行品等を補償
3. 国内外を問わず24時間の傷害・病気等を補償
○携行品(学校管理下動産補償特約)の補償は学校管理下中のみです。
○夜間・休日も24時間事故の受付をしております。
4. 「メディカルアシスト」で24時間・365日無料各種医療に関するご送電に応じます。
○また、夜間の緊急医療機関や最寄りの医療機関をご案内いたします。

※詳細はパンフレットをご確認ください。

※補償期間(保険期間)は1年となります。(平成31年(2019年)4月25日午後4時より令和2年(2020年)4月25日午後4時まで1年間)

※中途加入は補償期間が異なります。詳しくは取扱代理店までお問合せください。

〈保険金額と掛金(保険料)〉

補償内容		W3タイプ	W2タイプ	W1タイプ	Aタイプ	Bタイプ
賠償責任 (記録情報限度額 500万円)	国内	1事故無制限	1事故無制限	1事故1億円限度	1事故1億円限度	1事故5,000万円限度
	海外	1億円限度	1億円限度	1億円限度	1億円限度	5,000万円限度
国内示談交渉サービス付き						
病気入院(1日あたり)		5,000円	5,000円	4,000円	—	—
傷害	死亡・後遺障害	428万円	474万円	404万円	326万円	283万円
	入院(1日あたり)	5,000円	5,000円	4,000円	3,900円	3,000円
	手術	上記入院日額の10倍(入院中の手術)、5倍(入院中以外の手術)				
通院(1日あたり)		3,500円	3,500円	2,500円	2,500円	1,300円
地震・噴火・津波		○	—	—	—	—
熱中症		○	○	○	○	○
細菌性食中毒		○	○	○	○	○
携行品(学校管理下動産補償)		1年で10万円限度(自己負担額1事故3,000円)				
被害事故補償		1事故1,000万円限度				
育英費用		100万円				
地震・噴火・津波		○	—	—	—	—
制度維持費		350円				
掛金(1年分)		17,000円	15,000円	12,000円	10,000円	7,000円

○携行品の損害保険金は1年間で10万円が限度(注)となります。

(注)携行品の損害保険金のお支払額の合計が保険金額(10万円)と同額となった場合は、この携行品の補償は損害発生時に終了します。

※制度掛金は制度維持費350円を含んでおります。

※上記保険料は職種別Aの方を対象としたものです。お子様(被保険者-保険の対象となる方)が継続的ニアルバイトに従事している等で、職種別Aに該当しない場合は、保険料が異なりますので、取扱代理店にお問い合わせください。

※病気入院(入院医療保険金)について：新規加入時の支払責任の開始日より前に被った病気については保険金お支払いの対象となりません。(ただし、新規加入時の支払責任の開始する日からその日を含めて1年を経過した後には生じた保険金支払事由については、保険金お支払いの対象となります。)

このご案内は団体総合生活保険の概要についてご紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。

〈お問合せ先〉取扱代理店 ㈱東海日動パートナーズ 中国四国 TEL:0120-018-217 平成31年3月作成(18-TC05014)

(引受幹事保険会社)



東京海上日動

(担当支社) 広島支店 広島中央支社
広島市中区八丁堀3-33 広島ビジネスタワー
TEL 082-511-9194

パンフレット・重要事項説明書は上記お問合せ先にご請求下さい。

(共同引受保険会社)

AIG AIG損保

AIG損害保険株式会社 広島営業支店
広島市中区基町12-6 富士火災広島ビル
TEL 082-535-6010

この保険契約は、上記の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。

〈引受保険会社〉 東京海上日動火災保険(幹事保険会社) AIG損害保険株式会社